

東洋一のモーター工場

登録番号	第001号
名称(型式等)	(株)日立製作所 習志野工場【現 (株)日立産機システム】
所在地	千葉県習志野市東習志野7-1-1 株式会社 日立産機システム 習志野事業所
設立年	1963年(昭和38年)

選定理由

1962年(昭和37)に日立製作所亀戸工場から、モーター及び制御部門を習志野の新工場に移転し、ここに「東洋一のモーター工場」が完成した。工場の総敷地面積は475,200㎡で、1,100名の従業員が働いていた。その後、2002年(平成14)に日立製作所から独立し、日立産機システムの習志野事業所となった。この事業所には1910年(明治43)に製造された純国産初のモーターである「5馬力誘導電動機」が保管されている。これは20世紀初期の国内電機製造技術の高さを示す歴史的資料で、日立グループの創業者である小平浪平と職工たちが、自分たちだけで設計・製図からコイル巻きまで行い製作した日立グループの最初の製品である。習志野事業所は「国産による技術開発」を創業精神とし、日立モーターの伝統技術を受け継ぎ、あらゆる産業界の原動力として信頼性の高い商品を提供している。現在はモーター事業をはじめとして、風水力システム、制御システムなど幅広い事業に取り組んでいる。

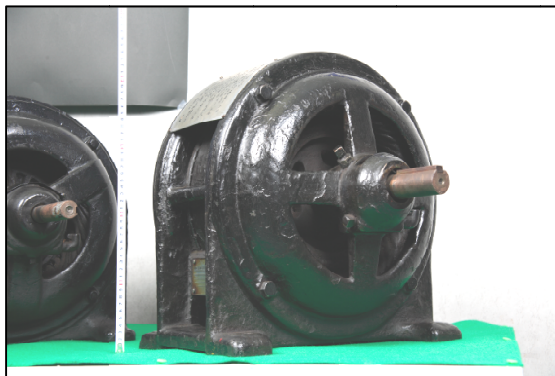
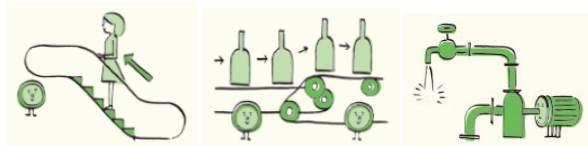


写真1：5馬力3相誘導電動機 1号機

くらしの中で使われているモーター

私たちのくらしの中で、「動く」ものには、ほとんどモーターが利用されている。洗濯機、掃除機、エアコン、扇風機、そしてパソコンなどのDVDディスクドライブなどさまざまである。電気自動車もモーターの力で走行している。日立産機システムの産業用モーターは、エスカレータや水道用のポンプなどに利用されている。



エスカレータ

工場の生産ライン

水道用ポンプ



写真2：設立当時の習志野事業所全景



写真3：現在の習志野事業所全景

参考資料 1) 日立産機システムニュース第80号(2015)

2) 千葉県工業歴史資料調査報告書第8号(2000) 3) 「新版 理科の世界」 大日本図書(2015)

4) 眼で見る習志野工場10年の歩み(第一巻) 株式会社日立製作所習志野工場(1973)